日本アフリカ学会第47回学術大会実行委員会

実行委員長: 池上甲一 (近畿大学農学部)

実行委員: 若月利之 (近畿大学農学部)

鶴田 格 (近畿大学農学部)

小林直明 (大阪大学世界言語研究センター)

白石壮一郎 (関西学院大学社会学研究科)

佐藤靖明 (大阪産業大学人間環境学部)

大会スケジュール

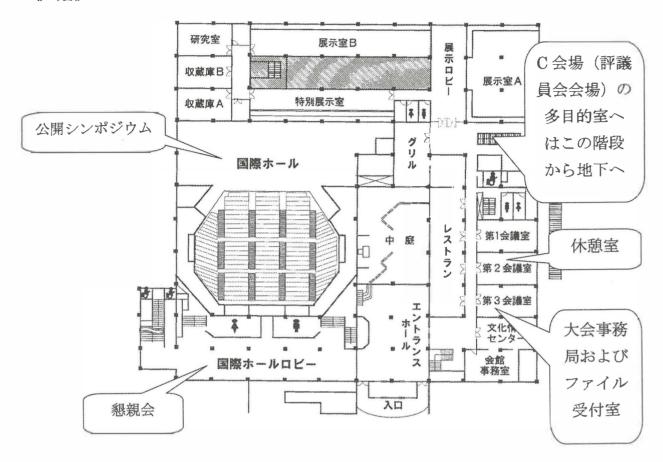
5月29日(土)

時間	, 	会 場
10:00-12:00	口頭発表	A会場: 集会室A・B(2階) B会場: 小ホール(2階) C会場: 多目的室(地下)
12:00-13:30	昼食・評議員会	評議員会:多目的室(地下)
13:30-14:30	口頭発表	A会場: 集会室A・B(2階) B会場: 小ホール(2階) C会場: 多目的室(地下)
14:40-15:30	ポスター発表コアタイム	小ホール(2階)
15:45–17:45	公開シンポジウム (一般公開) 「生物多様性と種子の未来: アフリカ農村の現場から考える」 司会 池上甲一 (近畿大学農学部) 講演者 磯崎博司 (上智大学大学院地球環境学研究科) 西川芳昭 (名古屋大学大学院国際開発研究科) 壽賀一仁 (あいあいネット)	国際ホール(1階)
18:00-20:00	製親会 懇親会	 国際ホール・ロビー(1階)
5月30日(日) 時間	内 容	会 場 A会場: 集会室A·B(2階)
9:30-12:00	口頭発表	B会場: 小ホール(2階) C会場: 多目的室(地下)
12:00-13:30	昼食	
13:30-14:30	総会	小ホール(2階)
14:45-16:30	口頭発表	A会場: 集会室A・B(2階) B会場: 小ホール(2階)

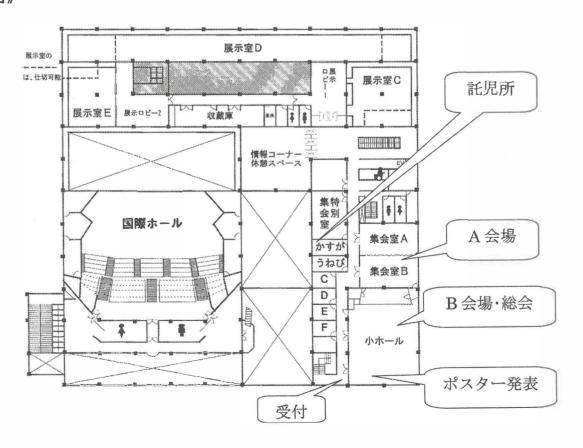
C会場: 多目的室(地下)

◎会場案内図

《1階》



《2階》



5月29日(土)午前

0± 88	rt E			万29日(工)干削	± =	0 A H (A D # C)
時間	座長	A会場(集会室A·B)	座長	B会場(小ホール)	座長	C会場(多目的室)
10:00		A1 杉本 喜美子 大阪学院大学 西アフリカ通貨統合の 実状と展望		B1 伊藤 千尋 京都大学 農村地域における生業への アクセスの差異とその要因 ザンビア南部州の事例から		C1 高田 明 京都大学 エスニシティ・ドッグ 。 ナミビア北中部に住む クンのライフストーリー分析
10:15		A2 正木 響 金沢大学		B2 友松 夕香 東京大学	赤阪	C2 石川 博樹 東京外国語大学
	大林	西アフリカの経済通貨統合の 現状と課題	伊谷	農作物生産における労働関係と 「家族」生計 ※ ガーナ・西ダゴンバ人社会より	賢	ハム仮説と エチオピアの「ガッラ」
10:30	稔	A3 福西 隆弘 アジア経済研究所	樹一	B3 E. Fabusorolまか University of Agriculture, Abeokuta, Nigeria/ 東京大学 Gender Analysis of Production		C3 小川 了 アフリカ学会会員 :
		近年のアフリカを取り巻く 環境変化と経済成長の関係: 生産者・企業の視点から		System and Decision Making in Fulani Agropastoral Households in Ogun State, Nigeria		西アフリカ王国の 構造理解について
10:45		A4 出町 一恵 神戸大学		B4 阪本 公美子 宇都宮大学		C4 伊東 未来 大阪大学
		アフリカ資源国への示唆: アゼルバイジャン 採取産業透明性イニシアチブの 服界と可能性		タンザニア南東部における 「女性世帯主世帯」の特徴と 生計戦略		マリ共和国ジェンネの 大モスク改修について
11:00		A5 浅野 英一 摂南大学 ケニアを経由する 国際幹線道路の維持管理 に関する普遍的な処方箋		B5 上田 元ほか 東北大学 東アフリカの農村・都市 における養豚の現状	嶋田義仁	C5 荒木 圭子 東海大学 南アフリカにおける アフリカ正教会
11:15	高	について A6 西浦 昭雄 創価大学 東アフリカの食品産業と 南アフリカ企業の影響	大	B6 半澤 和夫 日本大学 ザンビアC村における 小規模灌漑農業の広がり		C6 Nathalie Chaley 筑波大学 Image and Power of the mother in the Bwiti's thought: For the valorization of the wisdom of women
11:30	橋基樹	A7 牧野 久美子 アジア経済研究所	山修一	B7 安戸 竜司 神戸大学		C7 原口 武彦 アフリカ学会会員
		年金は誰のため: 南アフリカの非拠出年金に 関する批判的分析		アフリカ農村における 経済的均衡化と発展	小川	F. ウフエ・ボワニ評伝
11:45		A8		B8	'''	C8
		Samuel Amponsah		杉山 祐子	了	青木 澄夫
		東京国際大学		弘前大学		 中部大学
12:00		Companison of Cost and Benefit of Public Health Insurance by Poor and Non Poor Households in Ghana		ミオンボ林帯農耕民の イノベーションに関する考察		セーシェルの写真師 大橋申廣

12:00				0月29日(工)干饭				
	昼休み 評議員会(多目的室 地下)							
13:30		A9		B9 高村 美也子 名古屋大学 北東タンザニアの 農村におけるココヤシ利用		C9 眞城 百華 津田塾大学 エチオピア帝政期における ティグライ再考: 統合と分離の狭間		
13:45	武内	A10 森口岳 一橋大学 環境保護から王権保護へ: ウガンダ、カンパラにおける 二つの暴動の比較	重田	B10 桂田 祐介ほか 名古屋大学 家畜の放牧は下流の侵食に 影響するか:ケニア西部の事例	津田	C10 佐久間 寛 東京外国語大学 銃と紙 : ニジェール植民地化 をめぐる暴力の喩		
14:00	進一	A11 斎藤 文彦 龍谷大学 ルワンダにおける 土地登記と平和構築	四真義	B11 平井 将公 京都大学 セネガルのセレール社会における備蓄型燃料採集「タハン」に 私的所有資源の共的利用	田みわ	C11 鈴木 英明 日本学術振興会 1860年代東アフリカ沿岸部の 「奴隷船狩り」: 奴隷交易廃絶活動の実態		
14:15		A12 Boga Thura Manatsha 広島大学 LAND REFORM IN NORTHEASTERN BOTSWANA: ISSUES AND CHALLENGES		B12 小林 繁男ほか 京都大学 ギニアにおける 非木材林産物利用と生存基盤保 障		C12 松岡 陽子 名古屋大学 宣誓をめぐる言説: ケニア・マウマウ戦争 を事例に		
14:40 15:30	ポスター発表コアタイム (小ホール 2階)							
15:45	公開シンポジウム 「生物多様性と種子の未来:アフリカ農村の現場から考える」 (国際ホール 1階)							
18:00	懇親会 (国際ホール・ロビー 1階)							

5月30日(日)午前

<u>5月30日(日)午前</u>							
時間	座長	A会場(集会室A·B)	座長		座長		
9:45	望月 克哉	A13	内藤 直樹	B13 村尾 るみこ 京都大学 ポスト・コンフリクト国周辺地域 における生計維持 B14 湖中 真哉 静岡県立大学 なけなしの自助努ブルの 国内避難民 B15 山本 佳奈 京都 村部にあめぐる 季節湿地の対立と合意	鈴木 裕之	C13 板垣 順平 大阪芸術大学 エチオピア北部における 手織り布の生産と販売の多様性 C14 井上 真悠子 京都大学 現代アフリカ観光地における 土産物商人の移動と 新しい観光地の形成 C15 松平 勇二 名古屋大学 戦争と娯楽の歌"ジティ"	
10:15		A16 Mohamed Omer Abdin 東京外国語大学 The 2010 Sudan Post-Conflict Elections: A boost for unity?		B16 稲泉 博己 東京農業大学 カメルーン東部州における キャッサバ加工の現状と課題		C16 大門 碧 京都大学 ウガンダ・カンパラにおける 「クチパク」エンターテイメントの 勃興	
10:30		A17 古澤 嘉朗 広島大学 ケニアにおける 2 つの警察改革	小松 かおり	B17 Regina H. Y. Fu(まか 東京大学 Researh on yam production, marketing and consumption of Nupe farmers of Bida Region, Niger State, Central Nigeria		C17 織田 雪世 京都大学 ガーナ都市部における 美容師業の展開	
10:45		A18 遠藤 貢 東京大学 アフリカにおける 政党の動態と変容① ポスト・アパルトヘイト期 における南アフリカの連合政治		B18 藤本 武 人間環境大学 有毒イモを喰らう! エチオピア西南部における 野生サトイモ類の採集利用と 半栽培の事例	近藤	C18 早川 真悠 久米田看護専門学校 ジンバブエにおける外貨化	
11:00	峯 陽 一	A19 津田 みわ アジア経済研究所 アフリカにおける 政党の動態と変容② ケニアにおける国民虹の連合 (NARC)という経験	《地域開発	B19 浅野 史代 名古屋大学 参加型開発における 目標と実践のズレ: ブルキナァソ農村における 女性グループの事例から	英俊	C19 清水 貴夫 名古屋大学 ワガドゥグの都市計画と 住民生活の変化	
11:15		A20 佐藤 章 アジア経済研究所 アフリカにおける 政党の動態と変容③ コートディヴォワールにおける 民族と政党	フォーラム》	B20 坂井 真紀子 アフリカ学会会員 チャド南部における 穀物銀行の物語: 村落開発コンセプトの 社会学的考察		C20 小川 さやか 国立民族学博物館 都市を生きぬくための狡知	
11:30	竹村村	A21 澤村 信英 大阪大学 ケニア・ラム島における 初等教育の質	(座長・杉村	B21	星野	C21 水野 一晴 京都大学 ケニア山とキリマンジャロにおける 近年の氷河変動と植生遷移	
11:45	景子	A22 前田 美子 大阪女学院大学 ケニアの教育現場における 文化のハイブリッド化	和彦)	B22 黒崎 龍悟 福岡教育大学 タンザニア農村における 内発的な水道事業の展開	光雄	C22 門村 浩 東京都立大学名誉教授 André Gideが絶賛した 北カメルーンの景観とは?	

12:00	
	昼休み(B会場のみは12:15まで発表時間を延長)
13:30	

	5月30日(日)午後							
時間	座長	A会場(集会室A・B)	座長	B会場(小ホール)	座長	C会場(多目的室)		
13:30 14:30	総会 (小ホール 2階)							
14:45		A23		B23		C23		
		興津 妙子 サセックス大学		土手 香奈江 湖州師範学院		小野寺真由ほか ^{鹿児島大学}		
		公立基礎学校、コミュニティー スクール及び都教育評議会における 住民参加と説明責任: ザンビア、コッパーベルト州を事例に	高根	コートディヴォワール・ カカオ生産者の経営環境動態	中村	ケニア北部ナカリ産の 後期中新世齧歯類化石		
15:00	澤村	A24 山田 肖子 名古屋大学	務	B24 佐川 徹 京都大学	美知夫	C24 田代 靖子 林原生物化学研究所		
	信英	若者による公教育:伝統的 徒弟制度間の渡りと技能形成 、ガーナ国クマシ県の事例		大規模商業農場の建設が 地域社会に与える影響 エチオピア西南部ダサネッチ の初期対応		ウガンダ・カリンズ森林におけるブ ルーモンキーによる肉食		
15:15		A25 谷口 利律 ^{早稲田大学}		B25 岩淵 剛 NPO法人エコークラブ		C25 渡邉 美湖ほか _{東京大学}		
		仏領西アフリカにおける 教育政策の展開: 言語教育政策に焦点をあてて	壽賀	有機農業によるアフリカ農村開発		Mountain Gorilla Tourism Generating Wealth and Peace in Post-conflict Great Lakes Region		
15:30		A26 神谷 俊郎 大阪大学 南アフリカにおける諸言語の 社会的偏在—使い分けられる 「英語オンリー」と 「マルチリンガリズム」—	仁	B26 石原 豊一 立命館大学 途上国援助アクターとしての スポーツNGO ~ジンバブエ野球会の事例から~	伊藤詞子	C26 古市 剛史ほか 京都大学霊長類研究所 ウガンダ共和国とコンゴ民主 共和国における森林保護区 周辺の地域住民による 森林資源の利用の実態		
15:45		A27 亀井 伸孝 大阪国際大学		B27 水元 芳ほか _{大阪大学}		C27 松浦 直毅 ^{京都大学}		
	宮本	「アジア・アフリカ手話言語 情報室(AASL)」の構築	西	ボツワナ農村部貧困層にみられる 栄養不良の二重負荷に関する研究		ガボン南西部ムカラバ・ドゥドゥ国 立公園周辺の獣害状況		
16:00	律子	A28	真如	B28 川田 薫 エイズ予防財団		C28 縄田 浩志 総合地球環境学研究所		
		スワヒリ語WEB教材開発報告		日本のナイジェリア人 コミュニティにおけるエイズ啓発	丸山	外国人労働者との共同作業による環 境保全		
16:15		A29 稗田 乃 東京外国語大学			淳子	C29 池谷 和信 国立民族学博物館		
16:30		アチョリ語の声調体系 について				タンザニアのハッザの 現状に関する初期的報告		

ポスター発表

会場: 小ホール(2階)

コアタイム:5月29日(土) 14:40-15:30

P1

重田 眞義ほか 京都大学

アフリカ在来知と そのポジティブな発展

P2

砂野唯ほか京都大学

穀物の地下貯蔵庫ポロタ の機能と役割:エチオピア、デラ シュ特別自治区の事例

РЗ

Dilu Shaleka 京都大学

エチオピア南部シダマにおける宗 教の新しい実践

P4

田中 利和 京都大学

トラクラーか牛耕か:エチオピア 中央高地における在来牛耕の作業 能率に焦点をあてて

P5

若月 利之ほか 近畿大学

サワ方式によるアフリカ農民の自 カ開田と水田稲作の普及と訓練、 それによる緑の革命の実現

P6

渡邊 芳倫ほか

近畿大学

The influence of land-use change on soil chemical properties in south-western Nigeria

P7

手代木 功基 京都大学

ナミビア北西部のモパネ植生帯に おけるヤギの採食物の季節変化

P8

四方 篝 首都大学東京

カメルーン東南部のカカオ・アグ ロフォレストにおける 樹木の多様性

P9

作道 信介 弘前大学

社会化場面としての占い:北西ケニア、牧畜民トゥルカナの家長の事例

P10

栗田 和明 立教大学

タンザニア人交易人のザンビア,マラ ウィでの活動